

| | | | | | | | |
|--|---|-----|-----|---------|----------------|-------|----------------|
| 授業科目(ナンバリング) | 精神保健福祉援助演習(基礎) (DB319) | | | 担当教員 | 木下一雄・丸山貴志 | | |
| 展開方法 | 演習 | 単位数 | 1単位 | 開講年次・時期 | 3年・前期 | 必修・選択 | 選択 |
| 授業のねらい | | | | | | | アクティブ・ラーニングの類型 |
| この科目では、ディプロマポリシーに照らし、ホスピタリティの精神に基づいて、多様な立場の人々と相互理解を図ることができるようになることをねらいとする。 精神保健福祉援助の知識と技術に係る他の科目との関連性も視野に入れつつ、精神保健福祉士に求められる相談援助に係る基礎的な知識と技術について、実践的に習得するとともに、専門的援助技術として概念化し理論化し体系立てていくことができる能力を涵養することをねらいとする。 | | | | | | | ①④⑥⑦ |
| ホスピタリティを構成する能力 | 学生の授業における到達目標 | | | | 評価手段・方法 | 評価比率 | |
| 専門力 | 精神保健福祉士に求められる相談援助に係る基礎的な専門用語と技術を説明できる。 | | | | 定期レポート試験 | 20% | |
| 情報収集、分析力 | 課題の解決のために、専門知識を関係づけることができる。 | | | | 定期レポート試験 | 10% | |
| コミュニケーション力 | ロールプレイやグループ活動等の疑似体験において、相談援助に係る基礎的な知識と技術、地域福祉の基盤整備に係る知識、技術を使用できる。 | | | | グループワークと課題レポート | 30% | |
| 協働・課題解決力 | 個人またはグループでの活動に参加できる。 | | | | グループワークと課題レポート | 15% | |
| 多様性理解力 | 体験と、専門的援助技術として概念化・理論化されたものとの間の共通点を指摘できる。 | | | | 定期レポート試験 | 25% | |
| 出席 | | | | | 受験要件 | | |
| 合計 | | | | | 100% | | |
| 評価基準及び評価手段・方法の補足説明 | | | | | | | |
| 毎回の授業で学んだことを各授業レポート課題にまとめポートフォリオにて提出する。各授業レポート課題は、相談援助に係る基礎的な知識と技術を得るためにどのような取り組みをしてどのように感じたか、考えたかや、調べた内容がわかりやすく表現されているかを評価する。定期レポート試験では、専門的援助技術を意識して精神保健福祉士に求められる相談援助に係る基礎的な専門用語と技術を説明できることを確認していく(60%)。 | | | | | | | |
| 授業の概要 | | | | | | | |
| この授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、45分である。相談援助に係る基礎的な知識と技術に関する具体的な実技を用いたり、地域福祉の基盤整備と開発に係る具体的な相談事例を体系的にとりあげたりしながら、精神保健福祉士に求められる相談援助に係る基礎的な知識と技術について、実践的に習得する。 | | | | | | | |
| 教科書・参考書 | | | | | | | |
| 教科書：精神保健福祉士養成セミナー編集委員会編『精神保健福祉援助演習[基礎][専門](第6版)』へるす出版、2017年。 参考書：特に指定しない 指定図書：尾崎新(1997)『対人援助の技法～「曖昧さ」から「柔軟さ・自在さ」へ～』誠信書房 | | | | | | | |

授業外における学修及び学生に期待すること

グループのメンバーを尊重し合いながら、積極的に発言すること、調べること、書くこと。
 更には自発的な知識習得に努め、精神保健分野の行事や映画、ニュースなどに関心を持つこと等を期待する。

| 回 | テ ー マ | 授 業 の 内 容 | 予 習 ・ 復 習 |
|----|----------------------|--|--------------------------------------|
| 1 | オリエンテーション | 授業の概要、進め方、評価等の確認を行う。精神保健福祉分野への関心を確認する | スケジュールを確認する 予習／復習として、序章を読む |
| 2 | 自己覚知 | PSWとしての価値・倫理・葛藤、自分自身の価値観について考える | 予習として、第2章を読む |
| 3 | 基本的なコミュニケーション | 基本的なコミュニケーション、障害に配慮したコミュニケーションを考える | 予習として、これまでに学んだ「基本的なコミュニケーション技術」をまとめる |
| 4 | 基本的な面接技術の修得(1) | 基本的な面接技法を練習する | 演習を通して学んだことを整理し、ポートフォリオに提出する。 |
| 5 | 基本的な面接技術の修得(2) | 基本的な面接技法を練習する | 演習を通して学んだことを整理し、ポートフォリオに提出する |
| 6 | ソーシャルワークの援助事例(1) | インテーク、アセスメントを学ぶ | 予習として、事例に関わる疾患について調べる |
| 7 | ソーシャルワークの援助事例(2) | プランニングを学ぶ | 予習として、療養生活を支える制度について調べる |
| 8 | ソーシャルワークの援助事例(3) | 支援の実施、モニタリングを学ぶ | 予習として、退院後の支援制度、職場復帰に関わる支援制度について調べる |
| 9 | グループダイナミクス活用技術の修得(1) | グループダイナミクスを学び、グループへの関わり方について考える | 予習として、提示される基本用語を調べてくる |
| 10 | グループダイナミクス活用技術の修得(2) | グループへの関わりについて、事例を通して学ぶ | 復習として、第4章を読む |
| 11 | 記録の技術の修得(1) | 記録の意義、形態、留意点、を学び、記録シートを作成する | 予習としてこれまでに学んだ「記録」のツールを確認してくる |
| 12 | 記録の技術の修得(2) | 作成した記録シートを活用し、情報の収集と記録のあり方を学ぶ | 復習として、第3章を読む |
| 13 | 地域福祉の基盤整備(1) | 事例から地域アセスメントを学び、社会資源マップを作成する。地域の精神保健福祉活動に参加する。 | 演習を通して学んだことを整理し、ポートフォリオに提出する |
| 14 | 地域福祉の基盤整備(2) | 活動への参加を振り返り、精神保健福祉分野の地域づくりを考える | 演習を通して学んだことを整理し、ポートフォリオに提出する |
| 15 | まとめ | 前期の振り返りとまとめを行う | 演習の全体を振り返り、学び得た成果をまとめる |